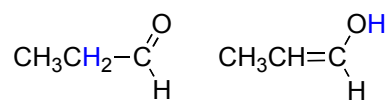


解答 PDF

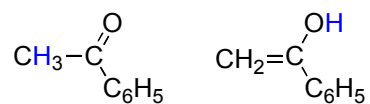
10 章

10.1

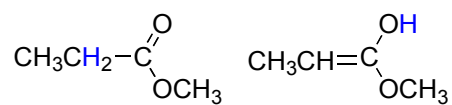
(a)



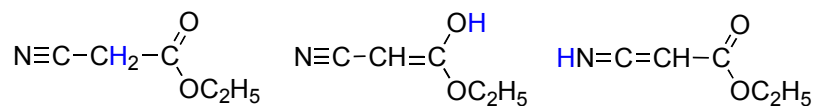
(b)



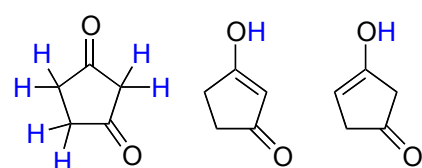
(c)



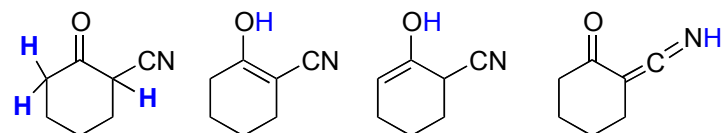
(d)



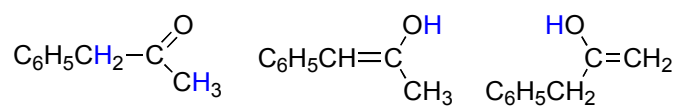
(e)



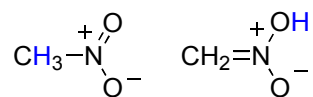
(f)



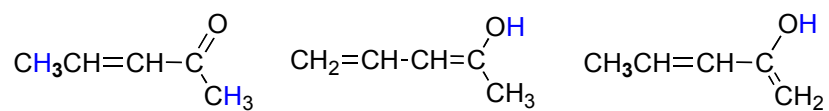
(g)



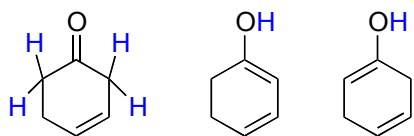
(h)



(i)

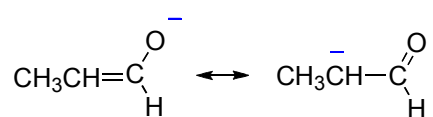


(j)

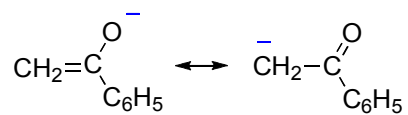


10.2

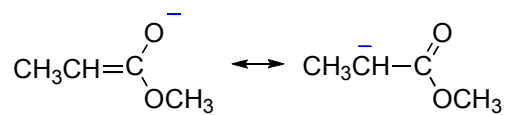
(a)



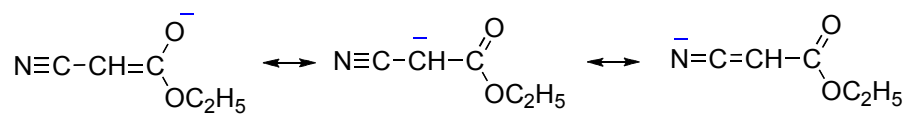
(b)



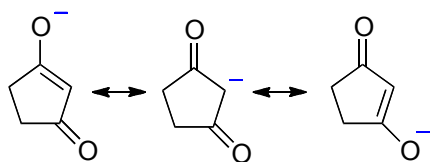
(c)



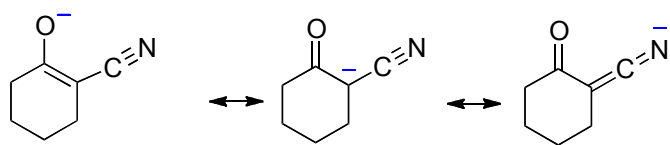
(d)



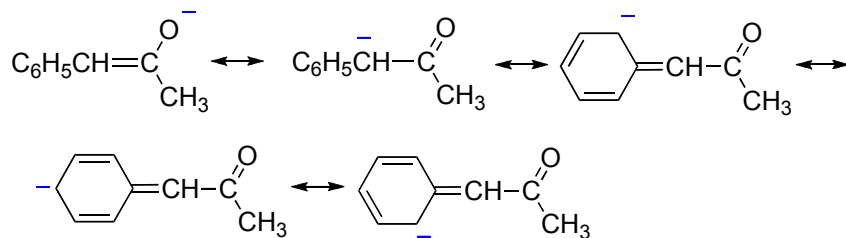
(e)



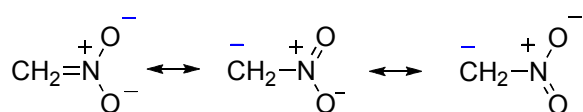
(f)



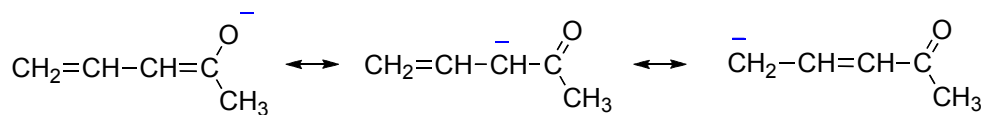
(g)



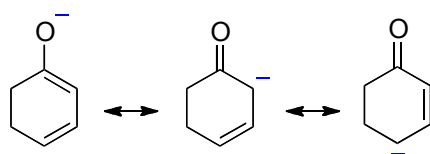
(h)



(i)

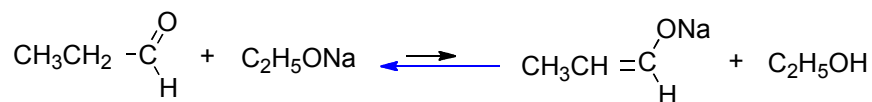


(j)

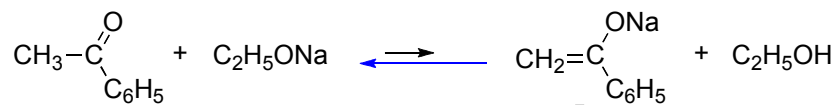


10.3 α 水素とエタノールの酸性度 (pK_a) を比較する.

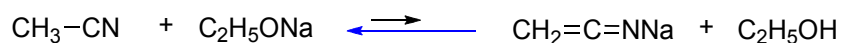
(a) 平衡は左に片寄る.



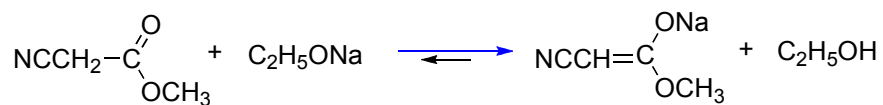
(b) 平衡は左に片寄る.



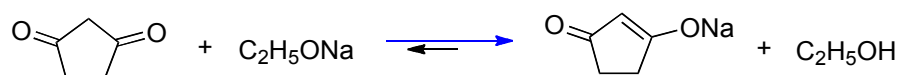
(c) 平衡は左に片寄る.



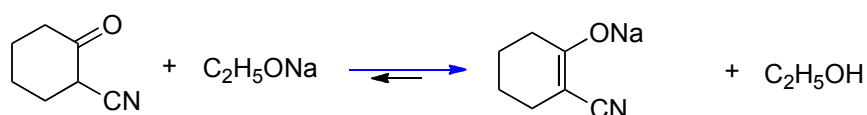
(d) 平衡は右に偏る.



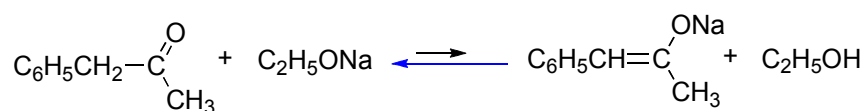
(e) 平衡は右に片寄る.



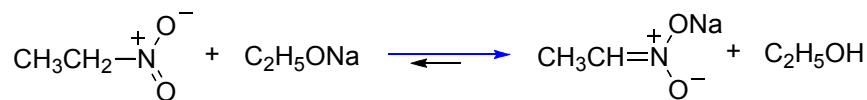
(f) 平衡は右に片寄る.



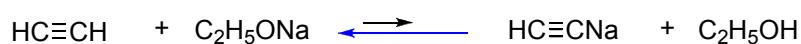
(g) 平衡は左に片寄る.



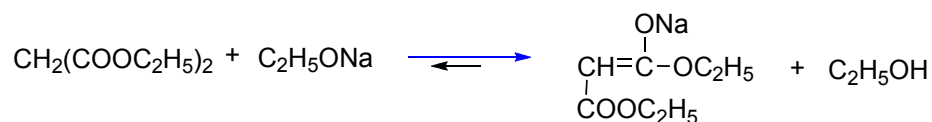
(h) 平衡は右に片寄る.



(i) 平衡は左に片寄る (アセチレンの $\text{p}K_a$ を考える).

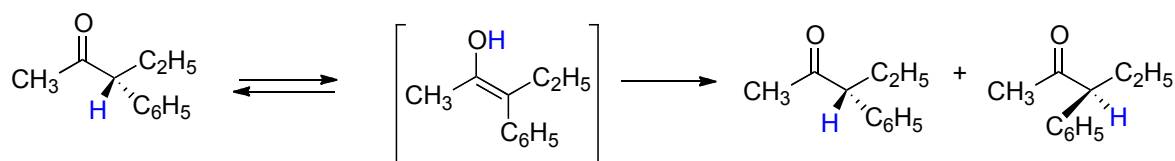


(j) 平衡は右に片寄る.



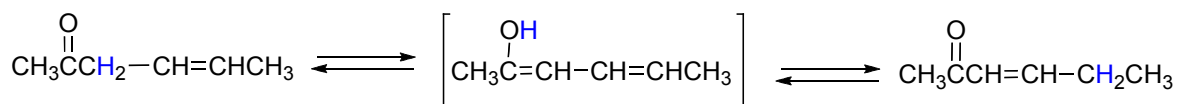
10.4

(a)



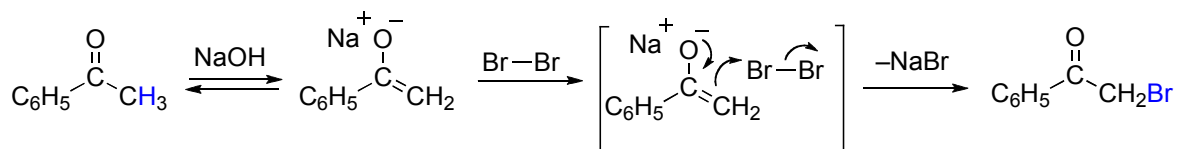
平面構造のエノール型を経由してラセミ化する

(b)

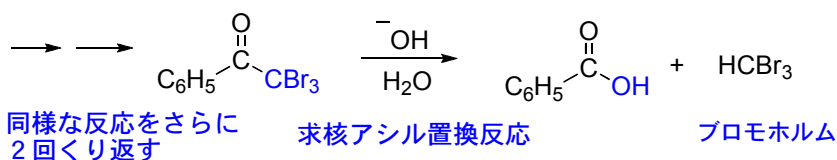


エノール型を経由してより安定な共役系となる

(c) この反応をハロホルム反応（ここでは臭素を使っているのが、ブロモホルム反応）とよぶ。



エノラートアニオンを経由した置換反応



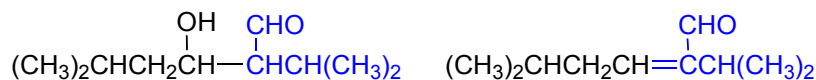
同様な反応をさらに
2回くり返す

求核アシル置換反応

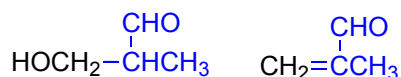
ブロモホルム

10.5

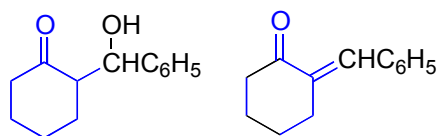
(a)



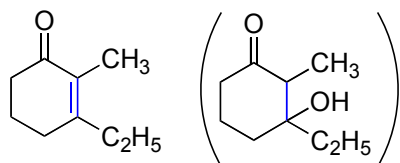
(b)



(c)



(d) 環式共役系はより安定なので、縮合まで進行する。括弧内は始めに生成する脱水前の分子内アルドール反応生成物を示す (p.174 参照)。



(e) 環式共役系はより安定なので、縮合まで進行する。括弧内は始めに生成する脱水前の分子内アルドール反応生成物を示す (p.174 参照)。

